

東京医療保健大学和歌山看護学部と 教育連携協定締結

—今年度から、より充実した内容で連携事業がスタート—



東京医療保健大学和歌山看護学部との間で、高大連携を進め、相互の人的、知的資源の交流と活用をはかり、相互の教育活動の発展をめざすため、教育連携協定の締結が行われました。

3月8日、東京医療保健大学和歌山看護学部から八島妙子学部長が来校し、大西弘之校長と協定書を取り交わしました。

本校には、例年30名程度の看護系進学希望者がおり、これまでも同大学を招いての校内での説明会や出前授業、またオープンキャンパスや体験学習への参加など、単発ではありましたが連携、交流を進めていました。

今年度からは、今回の協定締結を機に、これまでの取組をシステム化をはかり、看護系進学希望者の適性を見る機会の保障や看護大学での学びの一部を本校の教育内容に組み込むなど、本校の教育活動の充実に繋げていきたいと考えています。

